

くらの創意工夫コンテスト

主な作品を紹介します

市長賞



「野菜ミックスあげ」
奈良 秀子

知事賞



「ごぼう入り米粉クッキー」
佐々木 牧子

農業委員会賞



「エンツコ」
佐々木 礼子

津軽広域農業共済組合賞



「農作業用帽子とうでカバー」
對馬 きよ

JAつがるにしきた組合賞



「おせちをリメイク!!
黒豆煮のようかん風ゼリー」
山谷 綾子

JAごしょつがる組合賞



「着物でリメイク 3点」
成田 幸子

くらの知恵がずらり

第34回 つがる市くらの工夫展

創作料理のレシピに興味津々



市生活改善グループ連絡協議会(中村嘉子会長)主催の「くらの工夫展」が2月2日、松の館で開催され、多くの市民らでにぎわいました。

会場には、地元農産物を使った創作料理やくらしに役立つアイデア作品など、工夫を凝らした166点を展示。また、つがるブランド農産物を使った料理の実演も行われ、生活に取り入れようとメモを取る主婦の姿も見られました。

人気の試食コーナーでは、毎回好評な絵巻ずしや市食生活改善推進員会による健康レシピなども紹介され、今年も長蛇の列が出来ていました。

中村会長は「これまでの作品は、各家庭の味となり、商品化されたものもある。これからも若い世代にくらの知恵や技術を伝えていきたい」と話していました。

人気の試食コーナー



くらのアイデア作品を展示



調理の実演に集まった来場者

楽しさいっぱい!

つがるの冬

～地球村冬物語～



バナナボートの完成を喜ぶ参加者



たっぷりクリームを絞る子どもたち



そりでジャンプ!池越え成功!



工藤姉妹の雪だるま優勝作品

冬のつがる市をPRするイベント「地球村冬物語」が2月11日、つがる地球村で開催されました。

目玉イベントのロングバナナボートづくりでは、市内外から訪れた家族連れ約500人が150mの長さに挑戦しました。スポンジ生地にクリームとバナナを乗せ、スタッフの合図で二首に生地を巻き見事完成。バナナ1000本、つがる市産の米粉入りスポンジ510枚、生クリーム170kgで総重量430kgのバナナボードを全員で持ち上げ、完成を祝いました。初参加した弘前市の水木里咲ちゃん(7歳)は「みんなで一緒に巻くのが楽しかった。とてもおいしい」と口の周りをクリームだらけにしていました。

会場では、そり滑りや雪だるま作りなど雪で楽しむ多彩な催しが行われたほか、よさこい知求群会による演舞や豪華賞品が当たる抽選会も行われ、来場者はつがるの冬を満喫していました。



仲間と力を合わせて雪上網引き大会



観衆を魅了したよさこい知求群会の演舞。飛び入り参加も